

华南理工大学
2018 年攻读硕士学位研究生入学考试试卷

(试卷上做答无效, 请在答题纸上做答, 试后本卷必须与答题纸一同交回)

科目名称: 翻译硕士日语
适用专业: 日语笔译(专硕)

共 6 页

1. 語彙・文法 (30 点)

問題一、次の文の () に入る言葉はどれか、それぞれ A、B、C、D の中から最も適当なもの一つを選んで、() に書き入れなさい。(1×5=5 点)

1. このビルは、現在屋根の____工事が進められている。
A 改正 B 改定 C 改修 D 改革
2. 中国は、いろいろな分野において近年____発展している。
A やかましく B なやますく C かしましく D めざましく
3. ちょっと暇だったので、少し____してきました。
A ずるずる B ぶらぶら C ちらちら D くるくる
4. 二晩徹夜して、____課題の論文を書き上げることができた。
A どうか B なにより C どんなに D なんだか
5. 携帯などの工業製品は、大きさや形状などの____統一が求められている。
A 規制 B 規格 C 規約 D 規律

問題二、次の文の____下線を付けた部分はどれに当たるか、それぞれ A、B、C、D の中から一つ選びなさい。(1×5=5 点)

1. 非難の声が巷に満ちている。
A まち B まちた C ちまた D みなど
2. 人々は科学技術こそ万能だとみなして、それに将来の夢と希望とをかけようとした。
A まんの B まんのう C ばんの D ばんのう
3. 急用で大事な要件をなしに行く途中、ミチバタの水に落ちて苦しんでいた。
A 道畑 B 道端 C 路島 D 路傍
4. 生活から出てきたジミチな、明るい幸福観が一番望ましい。
A 地路 B 時路 C 地道 D 時道
5. 私は会社の繁盛を祈った。
A はんじょう B はんせい C はんしょう D はんぜい

問題三、次の文の（ ）に入る言葉はどれか、それぞれ A、B、C、D のの中から最も適当なものを一つ選びなさい。（1×20=20点）

1. 途中で仕事を投げ出すなんて、（ ）無責任な女だ。
A よほど B およそ C さほど D いかにも
2. 競争が厳しくなって、成績（ ）留年もありうるという。
A いかんでは B いかんには C いかんとは D いかんとも
3. 民事賠償の交渉の前提として、たとえ交通事故の加害者の立場（ ）交渉ごとの立場は対等であることを主張する。
A ではあろう B であり C ではあって D ではあれ
4. 安全保障はしっかりしているので、動きが活発なお子様はもちろん、大人も安心して（ ）。
A お座りになります B お座れます
C お座りになれます D お座りなさいます
5. 昨日の会議で結果を出しましたので、ここで（ ）。
A ご報告いたします B お詫びいたします
C ご説明になります D お謝りいたします
6. 今年は去年より暑くなるかと（ ）、むしろ寒いぐらいですね。
A 思うからには B 思ったことに C 思いつつ D 思いきや
7. 腰を高めてしまい、歩くこと（ ）立つことも難しい。
A ばかりに B をおいて C はおろか D につけ
8. 私は語学の才能がないようで、新しい言葉を習う（ ）忘れてしまう。
A あとで B そばから C が最後 D と見るや
9. ここまで業績が悪化するに（ ）、工場の閉鎖もやむを得ないと判断した。
A てらしては B かこつけては C 向けては D 至っては
10. 今回のイベントは、前回（ ）好評だった。
A ならまだしも B ともかく C にもまして D ばかりか
11. 昨日の演奏は、最高の出来とは（ ）、かなり良かったと思う。
A 言いながら B 言うにおよばず
C 言えないほど D 言えないまでも
12. 自分は関係ないと（ ）ばかりの夫の言動に腹が立った。
A 言わん B 言わず C 言いたい D 言おう
13. エネルギーの問題がこれほど深刻になった（ ）、世界各国が協力して、ただちに対策を立てるべきだ。
A からして B だけあって C 以上 D 一方
14. 近頃は、レストランなどで騒ぐ子供を（ ）ものなら、逆にこちらがその親に文句を言われてしまう。

- A しかった B しかる C しかろう D しからん
15. 当院長にセクハラの防止対策など改善を申し入れたが、何の改善も行われなかったため、周囲に対する誤解も解けず、退職を（ ）。
- A 余儀せずさせた B 余儀なくされた
C 余儀せずされた D 余儀なくさせた
16. この社会においても、個人の社会生活は、目（ ）見えない網の目のように張り巡らされた複雑なシステムの中で行われている。
- A も B に C の D が
17. 火影に背を向けた（ ）、女は顔に袖を押し付けるようにしてうずくまった。
- A まま B ため C きり D ので
18. 非常用備蓄食糧としては、食品そのものの品質はさること（ ）、保存の方法に至るまで、非常に欲しかった具備条件が求められている。
- A だけに B ゆえに C ながら D ばかり
19. 彼は教授として研究をする（ ）、好きな作家の翻訳をするそうだ。
- A ものの B どころが C かたわら D にかかわらず
20. デパートへシャツを買いに行ったが、いいものがないので、とうとう買わず（ ）帰ってきた。
- A しかない B じまい C すまない D おかない

2. 読解 (40 点)

問題四、 次の各文の内容を最もよく表しているものをそれぞれ A、B、C、D の中から一つ選んで、（ ）の中に書き入れなさい。(5×4=20点)

1. けさ、娘に「実は二人に会ってほしい人がいるの。日曜日に家に連れてくるから、お父さんにも言うておいてね」といわれて驚いた。 そういえば、夜遅くメールを交換したり、仕事が休みの日も楽しそうに出かけていたが、いったいどんな相手なんだろう。娘の伝言を聞いたら、夫はどんな顔をするだろうか。 ()

- A 「二人」とは、筆者と娘のことである。
B 「二人」とは、筆者とその夫のことである。
C 「二人」とは、娘とその恋人のことである。
D 「二人」とは、筆者の夫と娘の恋人のことである。

2. 英語がうまくなりたい日本人のいかに多いことか。それは新聞や雑誌で英語学習に関する広告を毎日のように見かけることでもわかる。「これさえ覚えれば英語の達人に慣れる」「毎日、たった15分聞くだけで話せるようになる」など、いともたやすく英語をもののできる気にさせるような直伝文句が並んでいる。はたして語学の上達に近道はあるのだろうか。わたしは、それはかけた時間に比例すると思っている。()

- A 短い時間で語学がうまくなることはない。
- B 新聞や雑誌の広告に語学の上達の近道が書いてある。
- C 語学の学習に時間をかけるのはいい方法と言えない。
- D 簡単に語学が上達する方法があるかどうかはわからない。

3. もし、あなたが草原にいて目の前に猛獣が現れたとしたら、人間の自然な行動として全力で逃げ出さだろう。しかし、逃げ出すのはかえってきけんになり、一番身近な木に登って待つのがよい場合もある。私たち人間は、このような時その場の状況をとっさに判断し、正しく行動するという知恵を働かせなければならない。このことは、毎日の生活についてもいえることである。たとえば、お客さんの来る時間に合わせて料理を用意しなければならない。つまり、やろうとしていることの目的を考慮に入れておくという基本的な知恵が必要なのだ。()

- A 私たち人間は、日常生活を送るうえで、その場の状況に応じて、知恵を働かせることが必要だ。
- B 私たち人間は、危険を感じた時の行動の仕方を学ぶべきだ。
- C 私たち人間は、目的をもって日常生活を送るべきだ。
- D 私たち人間は、状況判断を間違えると危険である。

4. 新しいことをやるには、勇気がいることは言うまでもないが、手を付ける前から、自分なんかにはできるわけがないとあきらめる態度ほどじれったいものはない。やってみなければ何も始まらない、特に最近の若い人は教育制度の影響か、早くからもう自分の将来はこのくらいのものだと見切りをつけて、それ以上は望まないというような考えの人が少なからずにいるのは残念でならない。それに比べ、「年寄りの冷や水」なんて陰口にもめげることなく、苦勞もいとわず、体力や記憶力の衰えと闘っても何かやってみたく仕方ないというシルバー世代の元気なこと。()

- A 自分の将来に大きな希望を持つ若い人が少ないのが残念だ。
- B 年寄りはいくら元気だと頑張っても体力の衰えには勝てない。
- C 無理して頑張る年寄りを若い人が悪く言うのは仕方がない。
- D 新しいことをする場合に勇気がなければ手を付けない方がいい。

問題五、 次の文章の (1) ~ (10) にはどんな語が入るか、後の A、B、C、D から、一番適当なものを一つ選んでください。(2×10=20 点)

高野山は空海が開いた山であること、それは誰でも知っていることです。また、空海の簡単な年譜を見れば、空海がそこで最後の息を引き取ったことも (1)。だから、高野山が重要なのだ、と私は主張しているものではありません。空海がそこで死んだから、高野山が重要な意味を持つようになるという順序ではなく、高野山が空海にとって重要な意味を持っていたから、高野山で最期を迎えることを彼は (1) のだ、というのが私の言いたいことなのです。

空海が高野山に初めて住むようになるのは、弘仁九年（818）、空海四十五歳の時でした。(3) 皮肉なことに、この時期から、空海は公人としてきわめて多忙な生活を強いられるようになります。ですから、実際には、高野山にゆっくり滞在している時間はそんなに多くなかったのです。比叡山からほとんど離れなかった最澄の場合と比べてみれば、(4)、空海と高野山の関係は希薄なのではないかとさえ疑われます。

しかし、空海の著作を読めば、彼が山の生活を、(5) 高野山での静かな瞑想と思索の生活をこよなく愛していたことがよくわかります。『性霊集』の巻一には山の生活を主題とした数篇の詩が載せられています。彼の処女作『聾鼓指帰』でも山中での修行生活が都会の華やかな、しかし浮ついた生活と対比して力強く描かれています。

空海はよく手紙を書く人でした。書簡作家としての側面も空海は持っているのです。高野山に住むようになってからの手紙の中で、空海は、「南嶽沙門空海」と署名する(6)。「沙門空海」は彼が生涯を通じて好んで使った署名であり、自らを称する名称でした。空海が自分自身をどう考えていたかという自己意識が、そこには集約して示されています。(7)「南嶽」をつけて、「南嶽沙門空海」と言っているのですから、この新しい署名にはまた新たな自己意識の次元が付け加えられていると考えてよいでしょう。高野山を我がものとした空海の悦びと、満足と、さらにはいくらかの誇りさえもがそこには感じられます。高野山は空海が最も愛した山であったというばかりではなく、求道者としての空海の人生全体を集約する何かがこの高野山にはある、と考え間違いないと思います。

高野山には、(8)、空海が自らの意思で創建した唯一の寺院、金剛峰寺があります。空海ゆかりの寺院というのは、京都や奈良を中心にして少なからず残っています。京都の乙訓寺（おとくにでら）、神護寺、東寺、奈良の東大寺などがすぐに思い浮かびます。(9)、これらの寺院は空海が発願して建立したものではありません。空海が自分自身の意思で、自分自身の思想を具体的な形として表現するために建立した寺院は、ただ一つ、高野山の金剛峰寺だけです。これはあまりよく知られたこととは言えないかもしれないが、空海を理解しようとするときには(10)ことです。

1. A できます B 考えられます C あります D 分かります
2. A 願った B 嫌った C 成った D 作った
3. A それで B すると C しかも D だから
4. A もちろん B なにしる C むろん D むしろ
5. A なにも B なおも C なかにも D なかでも
6. A ようになります B ようにします
C ことになります D ことにします
7. A そのなか B そのため C そのうえ D そのうち
8. A これで B さらに C せめて D そこで

9. A しかし B しかも C そして D それで
10. A 考えてはならない B 忘れてはならない
C 思ってはならない D 捨ててはならない

3. 作文 (30点)

問題六、次の要領で解答用紙に作文を書きなさい。(30点)

題目：読書の楽しみ

注意事項：1. 文体は、手紙分を除いて一律常体にすること。

2. 文章は、450字以上、600字以内におさめること。

(句読点も一字とする。もし450字未満、または600字をオーバーした場合は減点になる。)